

平成31年4月10日

福島大学記念誌（ことだま）を発刊しました！

創立70周年記念事業である「記念誌～ことだま～」を3月11日付けで発刊する運びとなりました。

本学学生、教職員、附属小学校の児童生徒の70名が震災当時の裏話や福島大学の取組などを寄稿しており、執筆者一人ひとりの想いがこもった「ことだま」を感じてもらえる記念誌となっています。

また、本学教育学部卒の和合亮一氏に、この記念誌のために「我らの種子を」という詩を書いていただき、巻頭ページを飾っています。

2019年は、食農学類の創設、既存学類の再編、教育・入試改革元年であり、福島大学にとって、記念碑的な大きな意味を持つアニバーサリーイヤーです。それに相応しい記念誌を作りたい、それなら、他の大学が絶対にやらない記念誌を作ろうという一心で取り組んできました。

震災後8年間の取組が詰まった記念誌を、是非、一人でも多くの方に読んでいただき、ご協力いただければ幸いです。

- 1．誌名：福島大学創立70周年記念誌 ことだま
～福島大学の今、そして未来をつづる70の物語～
- 2．編集：福島大学創立70周年記念誌編集委員会
委員長 三浦浩喜理事・副学長（教育・学生担当）
- 3．体裁：A4判、カラー、100頁
- 4．部数：2,000部

【配付先】

今年度開催予定の70周年記念式典や記念イベント時、リノベーション基金^()への寄附者等への配付を予定しています。なお、一般の方でご希望の方には、380円分の切手を貼った角型2号の返信用封筒を推進事務局宛てお送りくだされば郵送いたします。

<https://www.fukushima-u.ac.jp/donation/renovation/>

（お問い合わせ先）

福島大学70周年記念事業推進事務局 高野、木村、福田
〒960-1296 福島市金谷川1番地

メールアドレス：f-family@adb.fukushima-u.ac.jp

024-503-4991 Fax024-548-3180

和合亮一様からのメッセージ

～ 記念誌に寄せて ～

70周年記念誌を手にして、改めて、福島大学の取組やそれを支える人々の層の厚さを感じました。福島大学で4年間学んで、今も思い続けている人間として、関わることができたことをとても光栄に思います。

金谷川キャンパスで学んだ青春の日々があったからこそ、自分の人生が開かれたと思います。詩を書くということをずっと続けてきて、今なお、思い続けているのは、福島大学での青春の風景です。

この記念誌を手にして、皆さんも同じ思いで過ごしていることを感じました。

今の福島大学の姿を丁寧に追いかけることができる素晴らしい一冊だと思います。